

ドイツの社会と文化 (その1)

2単位 2年 (前期)

ヘルベルト ウォルフガング・講師 / 人間文化学科

【授業目的】 授業の目的は社会学的な想像力を身につける事。ドイツ、オーストリーの社会問題と趨勢を取り上げる。ライフスタイル、価値観の多様化、若者文化、外国人排斥思想、移民受け入れ理論、グローバル化、高齢化問題、オーストリー、ドイツの社会学的、文化的に興味深い事象を紹介します。

【授業概要】 ドイツ、オーストリーの社会の時事問題

【履修上の注意】 受講者にレポートを発表させます。居眠り厳禁

【到達目標】 様々な社会的なテーマ、問題について好奇心を持つようになり、視野を広げること。

【授業計画】

1. 社会学入門:社会学とは何か。
2. ライフスタイル. 文化社会学: Pierre Bourdieu
3. Bourdieu 理論のキーワード:資本, ハビトウス, 階級, ディステクション等
4. エリートを生む学歴社会:ドイツとフランスの教育制度
5. Gerhard Schulze: 現代ドイツ社会の分析, その理論と研究デザイン
6. 日常生活の社会学:ドイツの主な五つの生活様式
7. ドイツ社会のライフスタイルグループの具体的な描写
8. ドイツの主流社会から排除されているグループ
9. 移民社会としてのドイツ:外国人受け入れの歴史と現状
10. 排斥主義と国家主義とネオナチ問題
11. 外国人受け入れ理論 1. 同化論, 統合論, 多様文化論, 超文化論
12. 若者文化 1. 1960年代から現代までのそれぞれの若い世代の特徴
13. 若者文化 2. 現代ドイツで族化している若者の分類
14. 若者文化 3. 若者の代表的な「族」の紹介
15. 纏めと質疑応答
16. Ulrich Beck: ドイツとグローバル化をめぐって

【成績評価】 出席, レポート, 発表, 授業への取り組み状況などをもとに総合的に評価する

【再試験】 あり。

【教科書】 教科書, 教材は要りません。参考書は授業を進めながら推薦します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgj-bin/toURL?EID=218906>

【連絡先】

⇒ ヘルベルト (088-656-7145, wolf@ias.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: 月曜日16.15h-17.30h (総合科学部1号館1階N06))

【備考】 授業は日本語で行われます。